



2021 事業報告

認定 NPO 法人保育ネットワーク・ミルク

ミルク 30 周年へ向けて



ミルクたんぼぼ園

「身近な食材にふれてみる～白菜むきむき～」



みるくっキッズクラブ売布 2 「宿題中」

CONTENTS

- 2021 年度の重点目標より 3
- 1. 預かり保育事業 4
- 2. 子育てに関する相談・助言
- 3. 子育てに関するセミナー、講演会、親子コンサート、親子交流会の企画運営 5
- 4. 子育てに関する情報紙の発行 7
- 5. 保育付講座などへの保育士派遣
- 6. 保育ボランティア養成講座 8
- 7. 放課後児童健全育成事業 9
- ミルク未来創造基金 10
- ミルクは 30 周年を迎えます 11



ミルクひまわり園「おさんぽ」

2022.2.12 神戸新聞取材記事

2022年(令和4年)2月12日 土曜日 神戸新聞 西版

子育て世帯 応援続け30年

ニータウンで活動 保育ネットワーク・ミルク

三田市「ニータウン」の環境で、人種差別撤廃アクションを走り続ける中、神戸を「子育て支援都市」にするべく、三田市と提携した「保育ネットワーク・ミルク」が、30周年を迎える。理事長の小笠原さん(65)が語る。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

三田市西山の小笠原さん(65)は、乳幼児と保護者を対象にした「保育ネットワーク・ミルク」を設立し、30周年を迎える。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

保育所や一時預かり 広がるママの輪

三田市西山の小笠原さん(65)は、乳幼児と保護者を対象にした「保育ネットワーク・ミルク」を設立し、30周年を迎える。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

親子で満喫歌やダンス

三田市西山の小笠原さん(65)は、乳幼児と保護者を対象にした「保育ネットワーク・ミルク」を設立し、30周年を迎える。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

記念コンサートに360人

三田市西山の小笠原さん(65)は、乳幼児と保護者を対象にした「保育ネットワーク・ミルク」を設立し、30周年を迎える。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

三田市西山の小笠原さん(65)は、乳幼児と保護者を対象にした「保育ネットワーク・ミルク」を設立し、30周年を迎える。周囲のママたちを巻き込みながら、一時預かりや子育て支援センターなどを設けてきた。一歩一歩進んでいく中で、ママたちの声や要望が、子育て支援の方向性を決め、ママたちを応援する人々が増えていった。

子どもたちの音をくぐりつけた出演者＝三田市天神1

2021 年度の重点目標より



2021年度はミルクとして何ができるのかをしっかりと見極め、今こそチームワークを発揮。決して諦めるのではなく、皆が希望をもてるよう、そして少しでも社会のニーズに沿えるように、子育て支援をミルクが率先していくことを目標に取り組んでまいりました。

- ① **ミルクの周知 新リーフレット作成 2021年 6月完成** 印刷部数：1,000部 配布実績：450部
2020年度より進めている「ミルクのファンを増やす」取り組みとして、新しいリーフレットを作成。現在利用されている方も含め、あらためてミルクの活動を知ってもらうことに務めました。またSNSの発信を充実させ、子育てを楽しむきっかけづくりを提案、インスタ登録150件を超したものの、引き続き魅力ある発信をしていく必要性を感じています。
- ② **0歳からの親子プログラム 子育て支援スペースみるく事業 「ほっぺたひろば」** 実績：9回 12人参加
プログラム内容：わらべうたベビーマッサージ、手遊び、絵本のおみかかせ、身長体重測定など
子育てひろばを利用される親子はマスクを着用、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスなど感染防止対策が当たり前で来場されます。Withコロナの子育て支援は、ふれあいを大切に現場では葛藤を抱えながら、常に最善の子育て環境を意識しています。安心できる場の提供と付加価値のある（市内外において無料イベントが大半の中）有料でも足を運んでもらえる内容の充実に努めてまいります。
- ③ **専門性を高める職員研修の充実** 各施設事業研修（ミルクたんぼぼ園、ミルクひまわり園、キッズクラブ、駅前子育て交流ひろば）・0.1.2歳児の発達と支援が必要な子どもへの支援（オンライン研修）、乳幼児におけるアタッチメントと否認知的な心の発達、子どもの心の育ちとそれを支える保育者の役割、HACCP導入研修会、予防型プログラム～脳科学からのアプローチ「マルチ予防」と「とも育て」～、地域の支援者・学生のための子育て支援研修、HSC子育てハッピーアドバイス、兵庫県放課後児童支援員認定資格研修、今あらためて考える学童保育の生活づくりと遊び、全国学童保育研究集会、企業主導型施設長研修、子育て支援研究会研修他リモート研修のみならず、会場において肌で感じる研修の実施は感性が研ぎ澄まされ、集中力も高まる声が聞かれました。
- ④ **悩める子育ての指南書を冊子に 2022年秋頃の出版を進めています**
- ⑤ **子育て支援講座総合プログラムの作成 中長期計画として実施**
求められるものだけが残る時代、継続課題として質の高い子育て支援の充実、『ここに預けたい』、『この人の話が聴きたい』、『ここに来れば楽しいことに会える』環境づくりを職員全体で創り上げていくには何が必要で、何が足りないのか、人ごとにとすることなく職員皆でミルクの未来（子育ての未来）の夢を語れるような組織づくりをさらに強化していきます。

音楽研修（講師：打楽器奏者小泉渚さん）



あそび研修（講師：KOBE あそびの研究所小倉和人さん）



1. 預かり保育事業

全職員が研修を積み、専門性の高い保育、技術をもって保育を行っています。



ミルクひまわり園は開園から3年目となり、今年度は定員割れの状況を撤回できず赤字計上となりました。まだまだ十分認知されていないこと、立地場所がわかり辛い、待機児童の減少も要因となり、これからどのようにしてミルクとして生き抜いていくのか、認可、認可外という制度を越えた保育の質、内容を重視、他との違いを広報していく必要があります。新年度より園児7人にてスタート（5家族企業主導型、2家族地域枠）、余暇型一時保育の受入れ増員、Instagramによる情報発信を始めています。

【エピソード】近隣住民の方よりお葉書を頂戴しました。『保育士の皆様（中略）ウォーキングしていると可愛い幼児たちの声がします。毎日が暗くうつつとした生活が少し明るくなったような感じがします。幼児たちの笑顔を見ると癒されてほっとします。保育士の方々の苦勞は大変でしょうね。地域の一人として感謝を伝えたくて手紙を書きました。』

● 三田市小規模保育施設「ミルクたんぽぽ園」

三田市西山1丁目13-6

園長：小泉雅子 保育士11人 音楽講師1人 調理師1人 管理栄養士1人 事務2人

定員：19人（0歳児3人、1歳児8人、2歳児8人）

年度末22人在籍（0歳児5人、1歳児9人、2歳児8人）

● 企業主導型保育施設「ミルクひまわり園」

三田市弥生が丘1丁目1-2 サンフラワービル1階

園長：北村幸子 保育士11人 音楽講師1人 給食補助2人 事務1人

定員：19人（0歳児3人、1歳児8人、2歳児8人）

年度末15人在籍（0歳児3人、1歳児7人、2歳児5人 余暇型一時保育1人）



● 認可外保育施設「子育て支援スペース みらくつく宝塚」

宝塚市売布2-5-1 ピピアめふ6階

チーフ：依智子 保育士2人

定期保育（げんきっきコース）利用5人 一時保育登録4人



● 認可外保育施設「子育て支援スペース みらく」

三田市弥生が丘1丁目1-2 サンフラワービル4階

施設長：北村幸子 保育士6人 保育補助3人

定期保育（げんきっきコース）利用9人 一時保育登録16人



● 診察時見守り保育「医療法人社団 産科・婦人科みずとりクリニック」

神戸市北区藤原台北町7-2-7

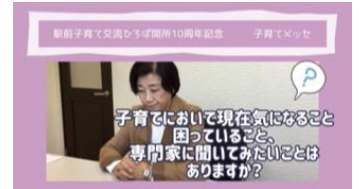
新型コロナウイルス感染防止のため休止

2.子育てに関する相談・助言



今年度は親子ひろばにおいて、現在気になること、困っていること、専門家に聞いてみたいことなどアンケートを実施。お悩み相談の回答を YouTube にて配信。また新年度よりオンライン相談対応も受け付けています。

- 小泉理事長**：ハニーFM 子育て Q&A：地元 FM 局にて毎月第 2 月曜日出演 10 回
 みるくっ子通信掲載 12 回：ハニーFM 子育て Q&A ちょっとひとりごと
 CO-OP ステーション 子育て Q&A 雑誌掲載：2021.7. 2022.1
 ひろば利用者による子育て Q&A YouTube 配信
- 駅前子育て交流ひろば**：駅前子育て交流ひろば専門員による子育て相談：
 毎月 4 回実施（45 回 59 人）・保健師：半田久子 ・子育てアドバイザー：小泉雅子
 ・助産師：中原有希子 ・管理栄養士：中川尚美
 マタニティ Day 毎月 1 回開催：情報交換をメインにプレママ同士の交流の場
 専門的なアドバイス 助産師：中原有希子
- 保育士おススメ絵本紹介**：地元 FM 局にて毎月第 4 水曜日出演 12 回
 みるくっ子通信掲載 12 回（北村幸子・岩崎倫子）
- 保育士おススメあそび紹介**：みるくっ子通信掲載 12 回（山本敬子・岩崎倫子）



3.子育てに関するセミナー、講演会、親子コンサート、親子交流会の企画運営

子育て中の親子が安心して過ごせる「ひろば」を展開。また子育て中だからこそ知りたい！考えたい！活かしたい！というお母さん、お父さんの「何かしたい」の気持ちをミルクとともに模索し、具体的な活動を実現することを目指しています。

- 三田市委託事業「駅前子育て交流ひろば」**：三田市まちづくり協働センター幼児室
 日・火・水・木曜日 10：00～17：30 1日3回2時間交代制（各5組限定）
 193日開所 1643組 3,584人來場 ※緊急事態宣言発出のため4/25～5/11 閉所
 大雨警報発令のため7/8.8/15.8/18 閉所
 交流促進事業 30回 子育て相談事業 45回 子育て支援事業 8回、
 身長体重測定日 45日実施 連携・コーディネート事業 33回



・第10回子育てメッセ 64家族 161人会場

『これからも楽しいイベント楽しみにしています！』

『大人も楽しめるとってもすてきなイベントでした！！』

子どもだけでなくお年寄りの人も楽しめるなーと思いました。』

『ありがとうございます！10周年おめでとうございます。』

本物の楽器の音にふれあえてとても良かったです。参加して良かったです。』 来場者アンケートより



● 三田市委託事業「駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろば」:

三田市ゆりのき台1丁目44 ミルク担当 34日 332組 1,033人会場

● 宝塚市社会福祉協議会 善意銀行分配「音あそび」:

みるくつく宝塚にて3回実施

● ミルクサポーターズ: ミルクサポーターズ 登録 10人

・ミルクサポひろば: 駅前子育て交流ひろば「つくってあそぼう」12回

子育て支援スペースみるく「思い出ボタンタッチ」8回

ミルクサポミーティング 12回



● まちの子育てひろば: ・親子ひろば 子育て支援スペースみるく 131日 227人

・あそびのひろば: 子育て支援スペースみるくつく宝塚 20回 16人

子育て支援スペースみるく 10回 19人

・ほっぺたひろば: 子育て支援スペースみるく 9回 12人

・アロマワークショップ: 子育て支援スペースみるく 10回 17人

・絵本館: 子育て支援スペースみるくつく宝塚 蔵書 187冊

子育て支援スペースみるく 蔵書 538冊 貸出登録会員 5人



● 2021年度ひょうごコミュニティ助成事業: 子育て支援研究会

テーマ～自身の心と体を整える～ 12/11～1/15全4回 延べ63人

①「自分を知り、自分を語る」講師: 荻野ゆう子さん

②「他者との関わりの中で自分を考える」講師: 荻野ゆう子さん

③「姿勢を整え、体幹を鍛えるセルフストレッチ」講師: 谷口隆治さん

④「講座のふりかえりと意見交換会」講師: 小泉雅子理事長



- **ミルク30周年記念ファミリーコンサート**： ミルクファミリーコンサート実行委員会 企画運営

2022/2/11 三田市文化センター 郷の音ホール・大ホール

新沢としひこ&ケロポンズ ミルクファミリーコンサート 353 人動員 協賛 14 団体

【後援】三田市・三田市教育委員会・神戸新聞社・エフエムさんだ 【クラウドファンディング】 27 件 164,765 円



来場者アンケートより

*コロナ禍で不安でしたが、今回しっかりと対策されているミルクさんの主催なので来れました。ありがとうございました。

*ミルク 30 年間の「子どもたちのため、親子の絆のため」の原動力があったからこそ、この困難な状況でもコンサートが実現したのだと思いました。

*本日は素敵なコンサートの主催をしてくださりありがとうございました。

*コロナ禍で生活に気をつけて過ごす中、楽しい時間をありがとうございました。

*YouTube で見ていた曲が流れて楽しかったです。

*コロナで声は出せませんでしたが、みんなで一緒に身体いっぱい使って参加できて本当に楽しかったです。

4. 子育てに関する情報紙の発行

子育て情報紙「みるくっ子通信」は、コロナ禍より公共施設での紙ベース配架数を抑え、同じ内容を SNS (Facebook、Instagram、LINE) でも発信。

読み手のスタイルを考慮して多様な形で情報が届くように努めています。



スタッフが各所へ通信を届ける際には『いつも楽しみにしています』の声をいただき、またおじいちゃん、おばあちゃん世代にも愛読ファンがいます。みるくっ子通信を通じて、世代を越えた方々にも子育て、子育て支援を意識してもらえるよう幅広く発信していきます。

新年度よりバージョンアップをして、カラーでの紙面をお届けしていきます。

- **みるくっ子通信**： 毎月 700 部 (A5 サイズ 4 ページ) 編集発行

<配架場所> 三田市内各市民センター、三田市立図書館、ふらっと、みなとつちひろば、郷の音ホール、駒ヶ谷運動公園、野外活動センター、エフエムさんだ、EQWEL チャイルドアカデミー、パスカル三田、宝塚市児童館、宝塚市立図書館、丹波篠山市ふれあいセンター、神戸市北区児童館、こべっランド、私立よこやま保育園、三田市立高平幼稚園、かるがも園 他

- **Facebook、Instagram、公式 LINE 投稿**

- **活動案内リーフレット 1,000 部作成発信**



5. 保育付講座などへの保育士派遣

親子にとって価値のある時間を提供しています。

- 駅前子育て交流ひろば 9回 25人保育
- 三田市集団健診 10回 15人 女性がん検診 19回 32人
- EQWEL チャイルドアカデミー神戸三田教室 11回 11人
- 三田国際交流協会 日本語サロン 利用なし
- 三田市文化センター郷の音ホール 利用なし



【これまでの保育士派遣先】

三田市産後ママ講座、三田市バランス食育講座、三田市健康料理教室、三田市ヘルシーライフスクール、三田市家庭教育学級、NPO 法人ひと・コネクト兵庫、三田市民生委員児童委員協議会、私立幼稚園 PTA 大会、三田市立高平幼稚園、三十路式、コープカルチャー宝塚他

6. 保育ボランティア養成講座

ミルクでは、子育ての悩み、問題の多くは人間関係が大きな要因であると捉えています。人間関係の希薄な時代だからこそ、子どもと親、親子と親子、親子と地域をつなぐ支援が必要であり、また子育て支援は、時代や社会状況、地域環境を考慮し、そこでのニーズを見極めることが重要です。そしてその先には「子育て支援」が特別ではなく、当たり前の人間関係になるような社会をめざしていくことが理想の社会であると考察しています。

- **駅前子育て交流ひろば**：申込6人 一時保育付きにて実施

1/25 「ママの地域デビュー～子育て支援者養成講座～」

講師：小泉雅子理事長

『子育て支援というと子育て中の私にはできないと思っていましたが、自分にもまずできることを考えて、人間関係づくりからしていきたいです。』

参加者アンケートより



保育ボランティア養成講座の受講者がミルクのスタッフとして活躍しています。

7.放課後児童健全育成事業



職員会議

学童保育事業は、児童の感染により、更なる広がりを防ぐために登所自粛のお願いを余儀なくされました。濃厚接触者となる職員の自宅待機、少人数体制にて売布 1.2 を合同運営。同施設内で実施しているげんきつき（定期保育）の休園と、第 5 波の影響を受けました。新年度には定員枠を超える申請を受け、あらためて乳幼児保育から小学校児童へ一貫した支援を考え、子どもの成長の中にあるニーズに応えていきたいと感じています。

- **みるくっくキッズクラブ売布：**

宝塚市売布 2-5-1 ピピアめふ 4 階（宝塚市売布小学校区）

チーフ 1 人 保育士 5 人 定員 20 人

1 年生 6 人 2 年生 8 人 4 年生 3 人 年度末在籍 17 人

- **みるくっくキッズクラブ逆瀬川：**

宝塚市中州道上ビル 1 階（宝塚市第一小学校区）

チーフ 1 人 保育士 3 人 定員 20 人

1 年生 1 人 3 年生 1 人 5 年生 1 人 年度末在籍 3 人

- **みるくっくキッズクラブ売布 2：**

宝塚市売布 2-5-1 ピピアめふ 6 階（宝塚市売布小学校区）

保育士 5 人 定員 18 人 2 年生 3 人 3 年生 9 人 年度末在籍 12 人



みるくっくキッズクラブ逆瀬川



みるくっくキッズクラブ売布 2 園庭



みるくっくキッズクラブ売布

ミルク未来創造基金

基金募集体制 2020年6月発足

ファンドレイジングツールとして CONGRANT のオンラインで基金を募るシステムの活用を開始。商業施設、公共施設及び三田市商工会を通じて各所へのチラシ配布に努め、地域の子育て支援の充実、子育てを楽しめる明るい未来を一人でも多くの方と一緒に応援できるよう、呼びかけを進めています。

受入れ状況

年度	受入れ金額	件数
2020	463,000 円	62
2021	20,000 円	4
合計	483,000 円	66



2021年度 寄附金使途内容

★子育て支援スペースみるくの充実 ★ミルクサポーターズ事業 ★みるくっ子通信の発行

ミルクでは設立当初より、子どもの親や家族が明るく生きることが子どもの元気につながると考え、子どもの成長発達を共に喜び、問題や悩みも共に考え、地域において子育てにやさしい社会づくりの一端を担えればと活動してまいりました。子育ての現状、お母さん、お父さんの思いを肌で感じている NPO として、行政や地域団体と連携して社会全体で子育てを守る体制づくりをめざし、子育てをサポートしています。

★2022年度 目標金額 500,000 円

引き続き、ミルク未来創造基金へのご支援をよろしくお願いいたします。

団体名：認定 NPO 法人保育ネットワーク・ミルク

所在地：〒669-1537 兵庫県三田市西山1丁目13-6

TEL：079-565-4313 FAX：079-558-8502

E-mail m-jimukyoku@npo-milk.org

WEB <https://npomilk.org>



ミルクは 30 周年を迎えます

保育ネットワーク・ミルクは 1990 年兵庫県三田市がニュータウン開発による人口急増の中、「何か人の役に立つことが出来ないものか」と、小泉理事長が自宅にて預かり保育を開始。預かり保育は口コミで広まり、ニーズの高まりを受け、保育士仲間と 1992 年「保育ネットワーク・ミルク」を設立。1998 年三田市三田町に保育ルームを開設、また子育て情報紙「みるくつ子通信」を創刊。子育てを全般に支援しようという思いを持ったメンバーが、自分たちの手でアットホームな保育を心がけ「母乳にはなれないけれど、頼りになる粉ミルク」をモットーにミルクの子育て支援の基盤が誕生しました。

2001 年 特定非営利活動（NPO）法人認証

2003 年 私立「よこやま保育園」開園準備より保育運営に携わり理事長が園長に就任

2011 年 三田市委託事業「駅前子育て交流ひろば」運営開始

2016 年 認可小規模保育園「ミルクたんぼぼ園」開園、また宝塚市放課後健全育成事業「みるくつくキッズクラブ」開所

2018 年 認定 NPO 法人保育ネットワーク・ミルク認証

2019 年 企業主導型保育施設「ミルクひまわり園」開園

2022 年 保育ネットワーク・ミルク 30 周年を迎えます

ミルクは 0.1.2 歳のふれあい保育の必要性、今私たちにできることを最大限に考えて活かし、子どもたちの未来へとつないでいくことに使命を感じています。



2022

実行委員会

2022 年度 重点目標

・子育て支援スペースみるくの事業、みるくつく宝塚の利用者を増やす

2021年度より継続課題（2021年度収益予算達成率：みるく54%、みるくつく宝塚64%）

・子育て支援講座総合プログラムの実施

社会状況を見据えた今のニーズから生まれる子育て支援事業の確立

・新たなスタッフ増加に伴うミッションの共有

・リーダースタッフの育成と研修 2年目3年目事業の課題

・事務局 各事業中長期計画 ふりかえり 及び作成

・利用者だけでなく、スタッフもミルクのファンに

・中長期を見据えた事業づくり

